

計画案の概要

	A案 面積増(少)・病床数現状維持案	B案 面積増(多)・病床増案	B'案 面積増(多)・病床増案 (B案と同様に450床増床するが、駐車場を 地階に設けた案)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・1床あたり面積 = 66.7m² ・ベッド数 = 342床 ・ベッド構成 = 急性期 <p>診療機能について重点診療は確保し、その他診療については別途今後の協議とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1床あたり面積 = 75m² ・ベッド数 = 450床 ・ベッド構成 = 急性期、地域包括ケア、回復期リハビリテーション <p>診療機能について重点診療は確保し、その他診療については別途今後の協議とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1床あたり面積 = 75m² ・ベッド数 = 450床 ・ベッド構成 = 急性期、地域包括ケア、回復期リハビリテーション <p>診療機能について重点診療は確保し、その他診療については別途今後の協議とする。</p>
面積	22,800m ²	33,750m ²	33,750m ²
ベッド数	342床	450床	450床
ベッド構成	急性期病床	急性期病床 + 地域包括ケア病床 + 回復期リハビリテーション病床	急性期病床 + 地域包括ケア病床 + 回復期リハビリテーション病床
メリット・デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・先行使用する面積が比較的少ない。 ・区内病床数の増加につながらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内病床数の増加につながる。 ・先行使用する面積が比較的多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内病床数の増加につながる。 ・先行使用する面積が比較的多い。 ・駐車場を地階に設け、周辺環境に配慮して敷地北側に緑地を設ける。 ・地階が増えてコスト増の要因となる。

* 周辺建物の位置及び高さの情報は平成27年3月練馬光が丘病院建替等基礎調査報告書を基に設定。

* 今後詳細な検討等により、周辺建物、計画建物及び日影の情報は変更となる可能性があります。